

## (高学年) ブロック 実践内容

### ○日常の取組

高学年ブロックでは、本年度の児童の実態として、「文の中で既習の漢字等を適切に使用することができない。」「学習したことを生かし、目的、構成等を意識して書くことができない児童が多い。」「自分で書こうとする題材を、絞り込むことができない。」「推敲の意識が低い児童が多い。」等が挙げられた。そこで、昨年度の研究の成果を受けて、本年度は身につけさせたい書く力の中で、「推敲」の部分に焦点を当てて研究を進めていくことにした。そして、書く力を支える漢字の定着や語彙を増やす等の取り組みを、朝の会のスピーチ等を活用しながら日常的に取り組むことにした。取り組んでいく際に、以下の点を共通事項と設定した。


- ・個人差への対応の一つとして既習学年の語彙や文法事項に関する復習プリントに取り組んだ。
- ・朝の会で「だれが・いつ・どこで・なにをした」に気をつけながらスピーチを行った。
- ・自分の意見を言うときには、まず結論を伝え、その後にその理由や説明をする話し方を心がけさせた。
- ・スピーチメモを取り、話し手の意図をとらえ、端的にまとめる練習を行った。

〈5年生の取り組みの様子〉

<p>今週のニュースから 名前( )</p>	<p>いつの出来事か(〇月〇日が分かれば書こう)</p>	<p>一月二十日</p>	<p>どんな出来事か(内容をかんたんに書こう)</p> <p>昨年1月の米大統領選を制した共和党のドナルド・トランプ氏が首都ワシントンの連邦議事堂で宣誓し第45代大統領に就任する事になった。</p>	<p>そのニュースをきいて、どう思ったか(感想など)</p> <p>私は、アメリカの大統領がトランプ氏で、大分不安だ。トランプ氏は、メキシコ国境への壁の建設やTPPを離脱など大きな問題があるから、日本の物に税金をかけるのと日本の物が売れなくなる。困りま。トランプ氏は、実業家出身なので他の国のことも考えてくれるように願っています。想像打のスピーチを入れているような方面からアメリカ大統領トランプ氏もみていきたいと思えます。</p>
----------------------------	------------------------------	--------------	---	---

スピーチを発表する際に使用した原稿の例。最初は作成に時間がかかったが、次第に手早く書けるようになってきた。感想や自分の考えをわかりやすくまとめることができるようになってきた。

〈6年生の取り組みの様子〉

聞いてみて	内容	日付
		1/24
山梨県の人か優勝できてうれしんでいる。オリビートルでも活やくしてほしいです。	1/22に、球の全日本選手権(権?)で、平野みう選手が最年少で優勝。(少)	話した人
その莓味の「きのこの山」って「きのこの山」いちごミルワ、のことですよね？私は兄弟で分けて食べました。「いちごミルワ」の他にも「たけのこの里 キラメル&ホワイト」も出たんですけど！普通のチョコもいいですか。「いちごミルワ」が「キラメルホワイト」もすごくおいしかったです。また食べたいです。(茶がきのこの山と白けの里のA1007です！)	お菓子の「きのこの山」に莓味が登場。 	

聞いてみて	内容	日付
		1/24
	1月22日、卓球で石川選手を山梨出身の選手を叩いた。ぼくはリオで活躍した選手を叩いたのはすごい。その山の山でいちごの味が増えた。たべたい。	話した人
	あのこのニューステレビでぼくは見た！すごいだよ！ね、リオで活躍した選手を叩いたよ！東京オリンピックはどう思うの？とか？茶を飲みました。いちご味、そんなのがでたんですわ。一口は食べてみたら、でもぼくはどろろかというだけのこのチョコの方が好きなんです。たけのこの山も新しい味がほしいです。	

昨年度に引き続いて取り組んだスピーチメモ。短時間（2分程度）で要領よくまとめることができるようになってきている。

○成果と課題

【成果】

- ・「内容」については、要点を短めに書くよう指導し、優れた例を紹介することによって、的確に要点をとらえ、短時間でまとめることができるようになった児童が増えた。
- ・「聞いてみて」については、話の内容を自分の経験に置き換え、自分の考えも入れながら書くよう指導した。自分の考えや体験を盛り込み、共感的な言葉が入るようになった児童が多く見られようになった。
- ・児童自らが学びの足跡をたどれるように、スピーチメモを一つに綴り、いつでも振り返ることができるようにした。その結果、児童自らが自分の成長を実感することができ、意欲的に取り組めるようになった。
- ・推敲に授業の中で取り組んだ結果、書いたものを読み直し、既習漢字等が使えていない、主述があっていない等、書く上で基本的な部分には、自ら気づき、提出前に直す姿を多く見られるようになった。

【課題】

- ・発表する内容を聞き取り、メモをとることで、語彙を増やせる児童がいる反面、なかなかそれが定着しない児童もいる。
- ・既習漢字の使用等の基本的な部分でも、個人差がまだまだ大きい。さらなる取り組みが必要である。